

令和7年5月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和7年5月 14 日(水)

時 間 午前10時～午前11時(予定)

発 表 内 容

- 1 「佐渡に住む、働く、暮らすをもっと身近に。」
移住相談窓口の強化について<移住交流推進課>
- 2 多様な労働力確保の取組みについて<地域産業振興課>
- 3 ビューさわた、羽茂温泉クアテルメ佐渡の民間譲渡先の募集について
.....<健康医療対策課>
- 4 2025 佐渡ロングライド 210 の開催について<観光振興課>

【事前質問】

- ① 危険かつ不安なものについてこそ、それなりに、政治の役割、使命、厳しい指導が不可欠です。

では、東京電力・柏崎刈羽原子力発電所の再稼働の是非に伴い、県民投票を求めた 14 万筆以上の県民の思い、胸の内は理解できますか？

この中には佐渡市出身者も含まれています。選挙区の旧区割りでも柏崎市と関係が深い対岸の首長として思うところはどんなことですか？(防災課)

- ② 世界遺産登録後初の大型連休の入り込み、にぎわいについて所感をお知らせください。

また、一部の大手観光関係者からは「ゴールデンウィーク期間中は、大阪・関西万博に客足をとられて、例年と似たような観光客の賑わいだった…」との感想が聞かれました。「市政は頑張ってくれているが、2割～3割の増では少ない」との複数の商店主の意見もあります。その感想をお願いします。

世界文化遺産登録後、間もなく1年になりますので、これからの誘客用の目玉イベントなどを教えて下さい。(観光振興課)

- ③ 佐渡総合病院の入院制限の現状と、今後の見通しについて教えてください。(健康医療対策課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R7. 5. 14)

1 「佐渡に住む、働く、暮らすをもっと身近に。」

移住相談窓口の強化について

<概要>

- 6月頃を目途に両津港南埠頭ビル3階の SADO PORT LOUNGE（サドポートラウンジ）に設置されている「移住相談窓口」を新たに「さど 暮らし テラス」として名称を変更し、佐渡で「住む」「暮らす」「働く」に関する総合的な窓口として機能も強化していきます。
- 最近では特に空き家に関する相談が増加しており、更には佐渡での創業や就業環境に関する相談なども増えてきています。
- 今後は、随時オンライン相談を受付けることで対応を強化するとともに、市内不動産事業者とも連携し定期的に専門家を配置することで、空き家活用に向けてより具体的な相談も可能となり、更には就業に関する相談にも対応できるよう体制を整えていきます。
- この新たな名称のように、テラスに居るようにくつろぎながら佐渡に住み、暮らし、働くことの相談ができて、その道筋を照らせるよう対応していきます。

2 多様な労働力確保の取組みについて

<概要>

- 労働力の確保においては、佐渡の企業や働く環境に関する情報の発信力を強化することが重要であると考えています。
- 令和7年度は、「COMPASS（コンパス）」や「さどマッチボックス」を有効に活用しながら、インターンシップの受入れのほか、高校生などに地元企業を知ってもらう取組みを実施し、島内事業者の働き手不足の解消およびU I ターン促進のための情報発信をさらに強化していきます。

【さどU I ターン・地元就職応援サイト COMPASS（コンパス）について】

- 島外に進学した学生の地元企業への就職と定住の促進および島内企業の人材確保の情報発信ツールとして令和7年1月に開設しました。
- 3月末までの実績は、16件（15人）の求職者から掲載求人への申込があり、そのうち3件が採用確定に至っています。今年度は島内事業者に向けての勉強会などを開催し、COMPASS（コンパス）のさらなる周知拡大を図っていきます。

【さどマッチボックスについて】

- 子育て・介護中の方や、シルバー世代、学生など、多様な方が時間にとらわれず1日単位や数時間単位で働くことができるスポットワークの仕組みとして、「さどマッチボックス」を令和5年度から運用しています。
- 令和6年度の実績では、前年度比154%の伸び率で、4,000件を超える採用が実現し、多くの市民の皆様に新たな働く機会を提供することができました。
- 令和7年4月の実績も523件の採用があり、順調に伸びております。今後は、介護などの専門職も含め、より幅広い職種、業種の方々にご利用いただけるよう、事業者と連携した情報発信を進めていきます。

3 ビューさわた、羽茂温泉クアテルメ佐渡の民間譲渡先の募集について

<概要>

- 6月12日まで「ビューさわた、羽茂温泉クアテルメ佐渡」を譲り受け、入浴事業を3年間継続していただくことを条件とし、管理運営する民間事業者を公募により募集しています。
- ビューさわたについて、建物は無償譲渡とし、土地については無償貸与とします。
- 羽茂温泉クアテルメ佐渡については、建物は無償譲渡、源泉施設は無償貸与とし、土地は有償貸与とします。
- 改修工事費用の補助の他、経営安定化のため運営費の一部を最大3年間補助します。
- 入浴事業が継続できなかった場合は佐渡市への返還を可能とし、最終的な施設の解体費用は佐渡市が負担します。

4 2025 佐渡ロングライド 210 の開催について

<概要>

- 5月18日（日曜日）「2025 佐渡ロングライド 210」を開催します。
- 今回は、約1,700名の参加者をお迎えし、日本海と里山の風景の中を走る「サドイチ」コースを楽しんでいただきます。
- 大会開催日の前後には、佐渡の魅力をより深く体験できる3つのファンライドツアーをご用意しております。前日には相川金銀山に関連する史跡を見学するコースや小佐渡を一周するコースをご用意しているほか、大会翌日には新たな取り組みとして、砂利道などの

オフロードを走る「グラベルライド」コースを設定しています。すべてのコースにサポートライダーが付きまます。

- ゲストには、「日本にもっと豊かなサイクルライフを！」をテーマに日本全国で自転車に関する動画を配信しているユーチューバー“けんたさん”をお招きしています。“けんたさん”には大会本番でBコースの130kmに出場いただくほか、前日開催のトークショーや、大会終了後のグラベルライドなどで、参加者との交流や佐渡の魅力を楽しんでいただきます。
- 後夜祭を18日に開催し、大会終了後も佐渡にお泊りいただき、翌日に観光を楽しんでいただきたいと思います。

【事前質問】

- ① 危険かつ不安なものについてこそ、それなりに、政治の役割、使命、厳しい指導が不可欠です。

では、東京電力・柏崎刈羽原子力発電所の再稼働の是非に伴い、県民投票を求めた14万筆以上の県民の思い、胸の内は理解できますか？

この中には佐渡市出身者も含まれています。選挙区の旧区割りでも柏崎市と関係が深い対岸の首長として思うところはどんなことですか？

- ・ 県民投票条例案については、県議会において専門的な検討が行われた上で今回の結果になったものと認識しています。そのことから県議会での結果に対して、私から申し上げることは特にありません。
- ・ ただ、多くの署名が集まったことについては、従来から原発に関心を持っていた人だけでなく、多くの人々が不安に感じている表れではないかと思います。
- ・ いずれにしましても、県民に理解していただけるように、国、東京電力は多様な手段でしっかりと説明すべきだと私自身は考えています。

- ② 世界遺産登録後初の大型連休の入り込み、にぎわいについて所感をお知らせください。

また、一部の大手観光関係者からは「ゴールデンウィーク期間中は、大阪・関西万博に客足をとられて、例年と似たような観光客の賑わいだった・・・」との感想が聞かれました。「市政は頑張ってくれているが、2割～3割の増では少ない」との複数の商店主の意見もあります。その感想をお願いします。

世界文化遺産登録後、間もなく1年になりますので、これからの誘客用の目玉イベント

などを教えて下さい。

- ・ 世界遺産登録後初めての大型連休となった、4月26日から5月6日までの観光入込数は推計値で約22,000人となり、前年（約19,000人）と比較し約116%、島内の宿泊者数の推計値は約13,000人となり、前年（約10,400人）と比較して125%という状況でした。
- ・ 来訪者の受入対応については、大型連休中の相川周遊バスの利用者数は508人で、前年と比較し169%であり、史跡佐渡金山の第1駐車場はほぼ満車の状況でしたが、第2・第3駐車場は空きが見られる状況であったことから、来訪者にご不便を掛けることなく、スムーズな案内・誘導を図ることができたと考えています。
- ・ きらりうむ佐渡の大型連休中の展示室の入館者数については、約1,400人となり、前年（788人）と比較し、176%という状況でした。また、併せて5月3日から5日にかけて実施したきらりうむ佐渡での地元産の食材を使用したお弁当の販売は完売となり、飲食スペースとして開放したきらりうむ佐渡の講堂ではキッチンカーの利用者を含め、多くのお客様にご利用いただいた状況からも、相川地区を中心に、例年より賑わいがあったものと感じています。何より地元商店の皆さまのご協力に感謝いたしますとともに、夏の観光シーズンに向けて引き続きご協力を頂きたいと思えます。
- ・ 目玉イベントというよりは今年は情報発信が重要であると考えています。佐渡汽船と連携して発信しているテレビコマーシャル「佐渡島、忘るべからず」は大変好評であると聞いていますし、世界文化遺産に関連する無名異焼や能などの文化や歴史を通じて、インバウンド誘客のためにヨーロッパやアジアに向けた情報発信について、新潟県とも連携しながら取り組んでまいります。
- ・ 小千谷市との交流事業や阿賀野市の道の駅でのイベントのほか、「金の道」関連地域や県内他市町村との連携・交流などを通じて、インバウンドや長期滞在のお客様が新潟全体を楽しんでいただけるような取り組みを進めているところです。

③ 佐渡総合病院の入院制限の現状と、今後の見通しについて教えてください。

- ・ 3月14日からの入院制限については、4月25日に制限を解除したと聞いております。
今後につきましては、看護師確保の目途は立っていると聞いておりますので、しっかりと状況を確認していきたいと考えております。